



# 足立六中 学校だより

## － 教 育 目 標 －

- ・自ら学び目標をもって努力しよう
- ・互いに尊重し助け合おう
- ・困難に耐え心と体を鍛えよう

## 読書のすすめ

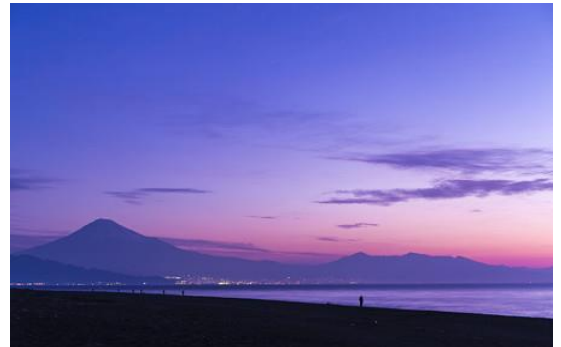
校長 鵜飼 康成

6月に入り、天気も雨や曇りの日が多い毎日です。なかなか、郊外へ出掛けるのも予定が立てにくい季節になりました。また、緊急事態宣言再延長となり、外出を自粛している人も多いのではないかと察します。さて、そのような時節、読書をしてみてはいかがでしょうか。勉強・仕事・家事などで、本なんて読んでいないという人もいるでしょう。スマートフォンやタブレットパソコンで調べ物を検索したり、テレビやYouTubeを視聴したりする人もいるでしょう。趣味やその他様々な時間の過ごし方をしていることと思います。読書には、以下のようなメリットがあるとされています。

- ・国語力、文章力が身に付く
- ・想像力が身に付く
- ・読書の体験で、人生が豊かになる

読書経験の多い少ないで、語彙力の付き方が違ってきます。また、文章を作成する技能もついてきます。さらに、文字だけが並んだ字面を頼りにして、状況や風景を思い浮かべ、登場人物や著者の心情を読み取ることによって想像力がつきます。また、本により知識や体験を深め、それを活かすことができます。

下の文章は、皆さんもご存じのように、「枕草子」(まくらものそうし)です。平安時代中期に中宮定子に仕えた女房、清少納言により執筆されたと伝わる随筆です。



原文：「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく、山ぎはすこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。」

現代語訳：「春は夜がほのぼのと明けようとする頃（がよい）。（日が昇るにつれて）だんだんと白くなっていく、山際の辺り〔山に接している空〕がいくらか明るくなって、紫がかっている雲が横に長く引いている様子（その景色がよい。）」

四季の自然や日常生活を観察し、独特の言い回しにより、その風景を楽しみ、考えや思いと重ねながら表現しています。2年生の国語の授業で「枕草子」を学習していますが、先日私も授業に参加しながら、白々と夜が明けていく風景を想像し、作者清少納言が日本の四季の趣を楽しんでいる様子を思い浮かべてみました。

このように、読書は情景を浮かべ、様々な想像がふくらみます。自分では経験していないことも、本で知ることにより、知識や経験が備わります。本校でも、朝の読書活動を年間計画に取り入れたり、図書室にあるお奨めの本を紹介したりするなど、読書活動に力を入れています。スマートフォンでも読書ができる便利な世の中ですが、時にはスマートフォンから目を離し、テレビを消し、デザインされた表紙の紙の本を手に取り、読書をする時間をご家庭でも作ってみてはいかがでしょうか。

## 運動会開催 ～清々しく躍動する六中生～

5月14日（金）「 We are the one ～心を一つに勝利に向かって羽ばたこう～」をスローガンに掲げ、天候にも恵まれた中、運動会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、来賓及び保護者の来場を自粛させていただきました。ご理解ご協力に感謝申し上げますとともに、無事に開催できたことを報告いたします。

例年の運動会の内容とは異なり、入場行進の短縮や感染リスクが低い種目を選択、また午前中で終了するなど制限のある開催となりました。しかし、生徒たちは「昨年度開催できなかった運動会が今年はやれる」という意気込みが、練習を重ねるたびに増してきたようで、一つ一つ取り組んできたことの様々な動きが精度を高めていきました。そして、運動会当日、生徒たちは、青空の下、思い切り運動ができることの素晴らしさを楽しんでいるようでした。むしろ、そこに勝敗は関係なく、それを感じながら競技をしている一人一人の仲間を称え、声援を送り、競技が終了するたびに自然に拍手が湧き起こっていました。「清々しい」とはまさに、このことなのだと感じました。コロナ禍の中、一年以上も様々なことに我慢を強いられているわけですが、生徒たちも教職員も、モヤモヤした気持ちがこの日の青空のようにスッキリとしました。

3年生は、中学校最後の運動会であり、昨年できなかった分も含めて、思い切り競技をしていました。ソーラン節も最後までしっかりと踊りきり、1、2年生に引き継ぐことができ、上級生として立派な姿を見せてくれました。六中生生徒全員のたくましさを感じ、今後の活躍が大いに期待される運動会の成功となりました。



入場行進後、開会式の様子です。



1年生クラス旗



2年生クラス旗



3年生クラス旗



美術部作成によるスローガン



## 7月の予定（翌月の予定を毎回お知らせしております。）

日	曜日	予 定
1	木	職場体験学習終（2年）6月29日（火）～7月1日（木）
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	朝礼
6	火	専門委員会
7	水	小中連携の日（教員対象）
8	木	中央委員会
9	金	安全指導 中央委員会 三者面談期間始7月9日（金）～15日（木）
10	土	土曜授業 数学検定
11	日	
12	月	朝礼
13	火	
14	水	区小中研の日（教職員対象）
15	木	
16	金	三者面談期間終 オリパラ教育ボッチャ体験
17	土	新型コロナウイルス感染症予防ワクチン集団接種会場（体育館）
18	日	〃
19	月	生徒会朝礼 避難訓練 美化活動
20	火	全校集会 セーフティ教室 職員会議
21	水	夏季休業日始
22	木	海の日
23	金	スポーツの日 東京オリンピック開会式
24	土	
25	日	
26	月	サマースクール始（I組のみ）〔午前〕7月26日（月）～30日（金）
27	火	〔※通常学級のサマースクールは、8月18日（水）19日（木）20日（金）23日（月）24日（火）25日（水）31日（火）に実施を予定しています。〕
28	水	
29	木	
30	金	サマースクール終（I組のみ）〔午前〕
31	土	

※令和3年5月10日付学校だより第2号でお知らせしました「6月の予定」ですが、6月19日（土）は、土曜授業になります。6月14日（月）～19日（土）の学校公開週間は、中止といたしますが、学校説明会（小学生6年生保護者対象）については、午前11時00分より開催いたします。

※例年7月上旬に、「開かれた学校づくり協議会」が開催していただいております「六中マルシェ」ですが、新型コロナウイルス感染症予防対策として緊急事態宣言の再延長が出されております。区の依頼により、多人数のイベントなど制限されておりますので、誠に残念ですが今年度も中止にいたします。

内閣府（防災担当）・消防庁より周知の依頼がありましたので、情報提供します。本校でも、毎月の避難訓練、引き渡し訓練、「マイタイムライン」による避難予測など防災教育に取り組んでいます。

## 令和3年5月20日から

# 避難指示で必ず避難

## 避難勧告は廃止です

警戒レベル  
4

ひなんしじ

# 避難指示

ひなんかんこく

# 避難勧告

は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p><b>緊急安全確保※1</b></p>	<p>これまでの避難情報等</p> <p>災害発生情報 (発生を確証したときに発令)</p> <p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p> <p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~		
4	 <p><b>避難指示※2</b></p>	
3	 <p><b>高齢者等避難※3</b></p>	
2	 <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	
1	 <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	

※1 市町村が災害の状況を確認し把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。  
これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

**内閣府（防災担当）・消防庁**

「避難」って何すればいいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



**行政が指定した避難場所への立退き避難**

自ら携行するもの  
・マスク  
・消毒液  
・体温計  
・スリッパ 等

小・中学校  
公民館

**安全な親戚・知人宅への立退き避難**

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

**安全なホテル・旅館への立退き避難**

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ホテル  
旅館

**屋内安全確保**

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

——— 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

ここなら安全！

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です  
(入っていると…)

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が崩れれば家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

2 浸水深より居室は高い

3階	5m~10m未満
2階	3m~5m未満
1階	0.5m~3m未満
1階以下	0.5m未満

3 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

※1 家屋倒壊等氾濫想定区域や2 水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。